

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	大阪芸術大学
設置者名	学校法人塚本学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
芸術学部	美術学科	夜・通信			16	16	13	
	デザイン学科				14	14		
	建築学科				14	14		
	文芸学科				14	14		
	放送学科				14	14		
	写真学科				14	14		
	工芸学科				14	14		
	映像学科				16	16		
	舞台芸術学科				16	16		
	芸術計画学科				14	14		
	キャラクター造形学科				16	16		
	音楽学科				14	14		
	演奏学科				14	14		
	初等芸術教育学科				13	13		
アートサイエンス学科	14	14						
通信教育部 芸術学部	美術学科	夜・通信			16	26	13	
	デザイン学科				16	26		
	建築学科				16	26		
	文芸学科				16	26		
	写真学科				18	28		
	音楽学科				18	28		
	初等芸術教育学科				18	28		
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ上で公表

芸術学部 <https://www.osaka-geidai.ac.jp/sitemap/student>

通信教育部

美術学科 <http://www.cord.osaka-geidai.ac.jp/geidai/admission/course/fineart/>

デザイン学科 <http://www.cord.osaka-geidai.ac.jp/geidai/admission/course/design/>

建築学科 <http://www.cord.osaka-geidai.ac.jp/geidai/admission/course/architecture/>

文芸学科 <http://www.cord.osaka-geidai.ac.jp/geidai/admission/course/literallyarts/>

写真学科 <http://www.cord.osaka-geidai.ac.jp/geidai/admission/course/photography/>

音楽学科 <http://www.cord.osaka-geidai.ac.jp/geidai/admission/course/musicology/>

初等芸術教育学科

<http://www.cord.osaka-geidai.ac.jp/geidai/admission/course/primaryeducation/>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大阪芸術大学
設置者名	学校法人塚本学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ上で公表 https://www.osaka-geidai.ac.jp/guide/financial

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	・元国立大学教授 ・私立幼稚園理事	2025.5.29～4年以内に 終了する会計年度のう ち最終のものに関する 定時評議員会の終結の 時まで	総務担当
非常勤	・私立大学団体理事	2025.5.29～4年以内に 終了する会計年度のう ち最終のものに関する 定時評議員会の終結の 時まで	法務担当
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大阪芸術大学
設置者名	学校法人塚本学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画(シラバス)の作成においては、大学ホームページ内の教員専用ページに設けた大学ポータルサイトよりWebシラバス入稿システムに各教員がログインし、シラバス作成画面より担当科目の授業目的と到達目標、授業概要、授業計画と授業回ごとのテーマ・授業内容、成績評価方法・基準における評価の対象、教員の実務経験等について記載(入力)を行っている。</p> <p>シラバスの公表については、履修登録の際に事前に内容を確認することができるよう、前年度3月下旬から大学ホームページ上で公開している。</p> <p>通信教育部においても、通信授業科目、面接授業科目(スクーリング)といった科目の授業形態に適したシラバス(記載事項は通学課程に準ずる)を各担当教員が作成の上、ホームページ上で公開している。</p>																	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>ホームページ上で公表</p> <p>芸術学部 https://ul.osaka-geidai.ac.jp/daiup/faces/login/Com00501B.jsp 通信教育部 https://system.cord.osaka-geidai.ac.jp/syllabus/</p>																
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>各受講科目について、授業時数の2/3以上を出席し、かつ試験、作品提出、レポート等、授業計画書(シラバス)に記載された成績評価の方法・基準に則り各授業科目の学修成果の評価を行い、60点以上の評価を得た者を合格とし、合格科目に対しては、その修了を認め所定の単位を与えている。卒業制作・論文・演奏等については、各学科の合評、審査等によって評価している。</p> <p>成績は100点を以って満点とし、60点以上を合格とする。その評点は次のとおり。</p> <table border="0"> <tr> <td>【令和2(2020)年度以降入学生】</td> <td>【令和元(2019)年度以前入学生】</td> </tr> <tr> <td>100点～90点 … 秀</td> <td>100点～80点 … 優</td> </tr> <tr> <td>89点～80点 … 優</td> <td>79点～70点 … 良</td> </tr> <tr> <td>79点～70点 … 良</td> <td>69点～60点 … 可</td> </tr> <tr> <td>69点～60点 … 可</td> <td>59点以下 … 不可</td> </tr> <tr> <td>59点以下 … 不可</td> <td></td> </tr> </table> <p>学修意欲に関しては、学期ごとに実施する授業アンケート等において把握を行っている。</p> <p>また、通信教育部においても、各受講科目の構成要件(課題提出、試験、スクーリング等)について、授業計画書(シラバス)に記載された成績評価の方法・基準に則って学修成果の評価を行い、60点以上の評価を得た者を合格とし、合格科目に対しては、その修了を認め所定の単位を与えている。</p> <p>成績は100点を以って満点とし、60点以上を合格とする。その評点は次のとおり。</p> <table border="0"> <tr> <td>100点～80点 … 優</td> </tr> <tr> <td>79点～70点 … 良</td> </tr> <tr> <td>69点～60点 … 可</td> </tr> <tr> <td>59点以下 … 不可</td> </tr> </table>		【令和2(2020)年度以降入学生】	【令和元(2019)年度以前入学生】	100点～90点 … 秀	100点～80点 … 優	89点～80点 … 優	79点～70点 … 良	79点～70点 … 良	69点～60点 … 可	69点～60点 … 可	59点以下 … 不可	59点以下 … 不可		100点～80点 … 優	79点～70点 … 良	69点～60点 … 可	59点以下 … 不可
【令和2(2020)年度以降入学生】	【令和元(2019)年度以前入学生】																
100点～90点 … 秀	100点～80点 … 優																
89点～80点 … 優	79点～70点 … 良																
79点～70点 … 良	69点～60点 … 可																
69点～60点 … 可	59点以下 … 不可																
59点以下 … 不可																	
100点～80点 … 優																	
79点～70点 … 良																	
69点～60点 … 可																	
59点以下 … 不可																	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績評価における客観的な指標とその指標を用いた成績の分布状況を示す資料について、次のとおり定めて運用している。指標の公表については大学ホームページ等を通じて行っている。

<芸術学部>

履修した科目の成績を下表のとおり GP で表し、履修した全科目での GPA を算出したものを分布表にまとめている。学生各々の GPA の算出方法は下記の計算式のとおりである。

学生各自が成績において学部でどの位置にあるかを把握することができる。

【GPA/令和2(2020)年度以降入学生】

	評価	評点	GP
合格	秀	100 ~ 90	4.0
	優	89 ~ 80	3.0
	良	79 ~ 70	2.0
	可	69 ~ 60	1.0
不合格	不可	59 以下	0.0
	認	認定	対象外

GPA の算出方法

$\{(4.0 \times \text{秀の単位数}) + (3.0 \times \text{優の単位数}) + (2.0 \times \text{良の単位数}) + (1.0 \times \text{可の単位数}) + (0.0 \times \text{不可の単位数})\} / \text{履修登録単位数}$ 【但し、教職課程、学芸員課程、司書課程、司書教諭課程、保育士課程の卒業要件外科目、及び成績評価が認定のものは除く】

【GPA/令和元(2019)年度以前入学生】

	評価	評点	GP
合格	優	100 ~ 80	3.0
	良	79 ~ 70	2.0
	可	69 ~ 60	1.0
不合格	不可	59 以下	0.0
	認	認定	対象外

平均ポイントの算出方法

$\{(3.0 \times \text{優の単位数}) + (2.0 \times \text{良の単位数}) + (1.0 \times \text{可の単位数}) + (0.0 \times \text{不可の単位数})\} / \text{履修登録単位数}$ 【但し、教職課程、学芸員課程、司書課程、司書教諭課程、保育士課程の卒業要件外科目、及び成績評価が認定のものは除く】

<通信教育部>

履修した科目の成績を下表のとおりポイント化し、履修した全科目での平均ポイントを算出したものを分布表にまとめている。学生各々の平均ポイントの算出方法は下記の計算式のとおりである。学生各自が成績において学部でどの位置にあるかを把握することができる。

成績評価のポイント

	評価	評点	ポイント
合格	優	100 ~ 90	4.0
		89 ~ 80	3.0
	良	79 ~ 70	2.0
	可	69 ~ 60	1.0
未合格	—	—	0.0
	認	認定	対象外

平均ポイントの算出方法

$\{(4.0 \times \text{優}(100 \sim 90) \text{の単位数}) + 3.0 \times \text{優}(89 \sim 80) \text{の単位数} + (2.0 \times \text{良の単位数}) + (1.0 \times \text{可の単位数})\} / \text{履修登録単位数}$

客観的な指標の 算出方法の公表方法	ホームページ上で公表 芸術学部 https://www.osaka-geidai.ac.jp/site/average 通信教育部 http://www.cord.osaka-geidai.ac.jp/geidai/bunpu/
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学ではディプロマ・ポリシーを「建学の精神を体現し、クリエイター、教育者、そして芸術のよき理解者として社会に貢献し得る能力を学修していることを求める。成績評価は卒業所要単位数の修得、卒業制作・論文・演奏の審査により、学位を授与する」と策定している。</p> <p>卒業所要単位数は124単位であり、成績は、造形系学科は合評、メディア系学科は合評、上映会、公演等、音楽系学科は発表会、卒業試験、実技試験等が実施され、複数教員によって評価されることで公平性が担保されている。</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	ホームページ上で公表 https://www.osaka-geidai.ac.jp/guide/philosophy 「大学案内」(資料請求による)、「学生便覧」(入学時に配付)

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	大阪芸術大学
設置者名	学校法人塚本学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ上で公表 https://www.osaka-geidai.ac.jp/guide/financial
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告(書)	

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: ホームページ上で公表 https://www.osaka-geidai.ac.jp/guide/jihee

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 芸術学部、通信教育部芸術学部
教育研究上の目的（公表方法：ホームページ上で公表 https://www.osaka-geidai.ac.jp/guide/philosophy ）
（概要） 本学の教育目的は「本学は高度の学と芸を教授・研究し、それぞれの専攻分野に関し、民主社会における指導の人材を知と愛の精神をもって育成することを教育目的とする。」であり、ホームページ、学生に配付する学生便覧及び大学案内にて公表し広く周知しており、この目的に沿って教育を行っている。また、15ある各学科（通信は7学科）においても教育目標として、学科としての人材育成の目標を示している。 学生へのガイダンスでもこの教育目的を周知して、本学における学修の意味の理解に努めている。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：ホームページ上で公表 https://www.osaka-geidai.ac.jp/guide/philosophy ）
（概要） 卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）については、芸術学部としての方針のもとに15の各学科（通信は7学科）それぞれの特性による修得すべき事項を定め、このことにより卒業に必要な学びを示している。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページ上で公表 https://www.osaka-geidai.ac.jp/guide/philosophy ）
（概要） 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）については、芸術学部における科目構成を説明し、専門教育の重視を伝えている。それを踏まえ15の各学科（通信は7学科）それぞれの特性に基づいて、学年ごとに組まれたカリキュラムの内容等、学ぶべき道筋を示している。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページ上で公表 https://www.osaka-geidai.ac.jp/guide/philosophy ）
（概要） 入学者の受入れに関する方針（アドミッションポリシー）については、芸術学部における教育目的達成に必要な次の4つの資質（①美を追究するマインド、②創造性と独創性、③社会創造・社会貢献へのマインド、④境界領域の開拓精神）を評価基準とし、学科ごとに求める学生像を設定、多面的な方法により審査する。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：ホームページ上で公表 https://www.osaka-geidai.ac.jp/departments/list/all
--

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
芸術学部	—	171人	80人	13人	0人	1人	267人
通信教育部芸術学部	—	8人	4人	3人	0人	0人	15人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
0人			885人				885人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：大学ウェブサイト上で公表 https://www.osaka-geidai.ac.jp/teachers					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
芸術学部	1,245人	1,271人	102%	4,980人	5,482人	110%	欠員の範囲	102人
通信教育部 芸術学部	950人	115人	12.1%	4,170人	1,644人	39.4%	(3年次)185人 (2年次)欠員の範囲	97人 24人
合計	2,195人	1,386人	63.1%	9,150人	7,126人	77.8%	—	223人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
芸術学部	1,226人 (100%)	29人 (23.6%)	937人 (76.4%)	260人 (21.2%)
	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	1,226人 (100%)	29人 (23.6%)	937人 (76.4%)	260人 (21.2%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>授業科目名、開講曜日時限、期区分、単位数、授業形態、教員名、授業目的と到達目標、授業概要、受講上の注意事項、成績評価方法・基準、教科書・参考書、授業計画（各回予定）、教員の実務経験等を記載した授業計画書（シラバス）をホームページにて公表している。</p> <p>通信教育部においても、各科目担当教員が作成したシラバス（記載事項は通学課程に準ずる）をホームページ上で公表している。</p>
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>各受講科目について授業時数の2/3以上を出席し、かつ試験、作品提出、レポート等、授業計画書（シラバス）に記載された成績評価の方法・基準のとおり各授業科目の学習成果の評価を行い、60点以上の評価を得た者を合格とし、合格科目に対しては、その修了を認め所定の単位を与えている。卒業制作・論文・演奏等については、各学科の合評、審査等によって評価している。</p> <p>成績は100点を以って満点とし、60点以上を合格とする。その評点は次のとおり。</p> <table border="0"> <tr> <td>【令和2（2020）年度以降入学生】</td> <td>【令和元（2019）年度以前入学生】</td> </tr> <tr> <td>100点～90点 … 秀</td> <td>100点～80点 … 優</td> </tr> <tr> <td>89点～80点 … 優</td> <td>79点～70点 … 良</td> </tr> <tr> <td>79点～70点 … 良</td> <td>69点～60点 … 可</td> </tr> <tr> <td>69点～60点 … 可</td> <td>59点以下 … 不可</td> </tr> <tr> <td>59点以下 … 不可</td> <td></td> </tr> </table> <p>また、通信教育部においても、各受講科目の構成要件（課題提出、試験、スクーリング等）について、授業計画書（シラバス）に記載された成績評価の方法・基準に則って学習成果の評価を行い、60点以上の評価を得た者を合格とし、合格科目に対しては、その修了を認め所定の単位を与えている。</p> <p>成績は100点を以って満点とし、60点以上を合格とする。その評点は次のとおり。</p> <table border="0"> <tr> <td>100点～80点 … 優</td> </tr> <tr> <td>79点～70点 … 良</td> </tr> <tr> <td>69点～60点 … 可</td> </tr> <tr> <td>59点以下 … 不可</td> </tr> </table>	【令和2（2020）年度以降入学生】	【令和元（2019）年度以前入学生】	100点～90点 … 秀	100点～80点 … 優	89点～80点 … 優	79点～70点 … 良	79点～70点 … 良	69点～60点 … 可	69点～60点 … 可	59点以下 … 不可	59点以下 … 不可		100点～80点 … 優	79点～70点 … 良	69点～60点 … 可	59点以下 … 不可
【令和2（2020）年度以降入学生】	【令和元（2019）年度以前入学生】															
100点～90点 … 秀	100点～80点 … 優															
89点～80点 … 優	79点～70点 … 良															
79点～70点 … 良	69点～60点 … 可															
69点～60点 … 可	59点以下 … 不可															
59点以下 … 不可																
100点～80点 … 優																
79点～70点 … 良																
69点～60点 … 可																
59点以下 … 不可																

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
芸術学部	美術学科	124 単位	有・無	単位
	デザイン学科		有・無	単位
	建築学科		有・無	単位
	文芸学科		有・無	単位
	放送学科		有・無	単位
	写真学科		有・無	単位
	工芸学科		有・無	単位
	映像学科		有・無	単位
	舞台芸術学科		有・無	単位
	芸術計画学科		有・無	単位
	キャラクター造形学科		有・無	単位
	音楽学科		有・無	単位
	演奏学科		有・無	単位
	初等芸術教育学科		有・無	単位
アートサイエンス学科	有・無	単位		
通信教育部 芸術学部	美術学科	124 単位	有・無	単位
	デザイン学科		有・無	単位
	建築学科		有・無	単位
	文芸学科		有・無	単位
	写真学科		有・無	単位
	音楽学科		有・無	単位
	初等芸術教育学科		有・無	単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法 :		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法 :		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：ホームページ上で公表

<https://www.osaka-geidai.ac.jp/guide/access/campus>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
芸術学部	美術学科	1,080,000円	280,000円	430,000円	その他費用は 施設設備費 (年額)を計上
	デザイン学科	1,080,000円	280,000円	430,000円	
	建築学科	1,080,000円	280,000円	430,000円	
	文芸学科	950,000円	280,000円	270,000円	
	放送学科	1,120,000円	280,000円	460,000円	
	写真学科	1,120,000円	280,000円	460,000円	
	工芸学科	1,120,000円	280,000円	460,000円	
	映像学科	1,120,000円	280,000円	460,000円	
	舞台芸術学科	1,100,000円	280,000円	460,000円	
	芸術計画学科	1,080,000円	280,000円	460,000円	
	キャラクター造形学科	1,120,000円	280,000円	460,000円	
	音楽学科	1,170,000円	330,000円	650,000円	
	演奏学科	1,170,000円	330,000円	650,000円	
	初等芸術教育学科	850,000円	280,000円	370,000円	
アートサイエンス学科	1,080,000円	280,000円	430,000円		
通信教育部 芸術学部	美術学科	250,000円	30,000円	105,000円	その他費用は 面接授業受講料、 テキスト代等の 平均額(年間)を 計上
	デザイン学科	230,000円	30,000円	105,000円	
	建築学科	200,000円	30,000円	105,000円	
	文芸学科	200,000円	30,000円	105,000円	
	写真学科	200,000円	30,000円	105,000円	
	音楽学科	250,000円	30,000円	115,000円	
	初等芸術教育学科	200,000円	30,000円	105,000円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 総合型選抜入試、学校推薦型選抜入試、学校推薦型スポーツ推薦入試の手続き者に対し、入学前教育を行い、新入生全員に対しては新入生ガイダンス、スタートアップセミナー、各学科で初年次教育に取り組み、高校から大学での学びにスムーズに移行できるよう支援を行っている。また、1年次生に対しては担任制を取り入れ、修学支援を行っている。 通信教育部においても、新入生を対象にした新入生ガイダンスを実施し、通信教育の学習にスムーズに取り掛かれるよう支援を行っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 進路選択に係る支援は就職部が行っている。就職部は部長（教員兼務）ほか専任職員、非常勤職員で構成されている。また、就職委員会を設置し各学科の就職委員と常に連携を取りながら、学生のキャリア支援を行っている。業務としては「就職及び進路の適切な指導・助言・支援活動」「就職及び進路等に関する情報の収集と発信」「企業訪問などによる求人開拓」に取り組み、行事としては「就職・進路ガイダンス」「就職試験対策講座」「適性診断（テスト・解説）」「業界研究セミナー」「業界・企業研究会及び学内合同企業説明会」「インターンシップ」などを実施している。 通信教育部では、生涯学習・リカレント教育といった課程の性格上、進路選択に関する組織立った支援は行っていない。但し、希望者がある場合には、就職課主催のガイダンスやセミナーへの参加等を認めている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 健康相談は保健管理室、心的相談はキャンパスライフサポート室、生活相談等は学生課で受け付けている。学生や相談内容が多様化し、部署間が連携の上対応が必要なケースも多く、ネットワークシステム上での情報共有、部内連絡会での共有とカンファレンスなどを実施している。その上で、学科教員や教学関連部署と連携をとりながら対応している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページ上で公表

<https://www.osaka-geidai.ac.jp/guide>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F127310107992
学校名 (〇〇大学 等)	大阪芸術大学
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人塚本学院

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生 (内数) ※家計急変による者を除く。		1,387人 (716) 人	1,333人 (673) 人	1,435人 (743) 人
内 訳	第Ⅰ区分	490人	477人	
	(うち多子世帯)	(92人)	(82人)	
	第Ⅱ区分	200人	187人	
	(うち多子世帯)	(36人)	(35人)	
	第Ⅲ区分	128人	124人	
	(うち多子世帯)	(30人)	(23人)	
	第Ⅳ区分 (理工農)	11人	12人	
	第Ⅳ区分 (多子世帯)	150人	128人	
	区分外 (多子世帯)	408人	405人	
家計急変による 支援対象者 (年間)				- 人 (0) 人
合計 (年間)				1,442人 (743) 人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	人
----	---

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	66人	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が廃止の基準に該当)	22人	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	—	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	—	人	人
計	87人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)、及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)		
年間	—	前半期	人 後半期	人

(3) 退学又は停学(期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。)の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	10人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	19人	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	—	人	人
GPA等が下位4分の1	156人	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	—	人	人
計	163人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。